

令和6年4月2日(火)、川崎市平和館常設展示が新しくなります

川崎市平和館は、市民の平和に対する理解を深めるとともに、平和を希求する市民相互の交流及び平和活動を推進し、平和都市の創造と恒久平和の実現に寄与することを目的として平成4年4月15日に設置されました。この度、常設展示の展示替えを行い、**令和6年4月2日(火曜日)**から一般公開します。

新しい川崎市平和館では、空襲で使われた焼夷弾(しょういだん)の実物大模型の展示、来館者が考えた「非平和」や「平和のメッセージ」を展示するメッセージボードの導入、オリジナル短編アニメ映画の上映、平和に関するクイズに答えて脱出する段ボール迷路の設置、スマートフォンやタブレット端末から見られる展示解説を行うなど、平和のことについて親しみをもって気軽に、そして自分事として考えてもらえる内容の展示としました。

(新しい展示内容)

1 「さわる」「みる」「やってみる」など体験型コンテンツを充実します。

- ・川崎大空襲が実感できるよう E-46 集束焼夷弾(しゅうそくしょういだん)(親爆弾)をリアルな模型で再現しました。
- ・M-69 焼夷弾(しょういだん)(子爆弾)の模型(重さ4キログラム)は手に取って触ることができます。

2 来館者参加型の展示を導入します。

- ・わたしの考える「非平和」や「平和へのメッセージ」をメッセージボードから発信する展示です。

3 子どもから大人まで幅広い世代に向けたオリジナル短編アニメ映画を上映します。

- ・ある竹林でのパンダさんとお猿さんの争いごとから平和について考えます。
(タイトル:ある竹林のはなし、上映時間:12分間、随時上映)

4 学校教育との連携や平和学習の実践に使える遊具を設置します。

- ・平和を表現するタイル絵が作れるマグネットボードを設置し、児童・生徒の団体見学やワークショップで活用します。
- ・クイズに正解すると脱出でき、楽しみながら平和について学べる段ボール迷路を設置します。

5 二次元コードとかわさき Wi-Fi を活用して、スマートフォンやタブレットから展示解説を行います。

- ・子ども向けにやさしい文章で展示解説を行います。
- ・多言語(英語、韓国・朝鮮語及び中国語)による文章での展示解説を行います。



オリジナル短編アニメ映画
「ある竹林のはなし」



ズシリと重い触れる模型
M-69 焼夷弾



親子で楽しみながら学べる
段ボール迷路

(川崎市平和館の概要)

所在地 川崎市中原区木月住吉町33番1号

開設日 平成4年4月15日

構造 鉄筋コンクリート造、地下1階、地上2階、塔屋1階

常設展示の内容 (1)導入展示(平和の反対ってなんだろう)
(2)川崎と戦争
(3)日本と戦争
(4)軍事力と非平和
(5)平和を考えるアニメーション たけぼやし ある竹林のはなし
(6)国家による弾圧
(7)現代の武力紛争
(8)メディアと非平和
(9)戦争以外の非平和
(10)平和への取り組み

その他施設 拉致被害者家族支援「横田めぐみさん」コーナー、図書コーナー、DVDコーナー、防空壕体験コーナー、屋内広場、会議室、研修室等

川崎市市民文化局平和館 富永

電話 044-433-0171